

地域包括支援センター名称	実施日	参加者(関係機関等)	数	テーマ/目的	検討内容
練馬ゆめの木	H30.6.12	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、医療機関、薬局、訪問支援協力員、高齢者食事サービス事業者、介護サービス事業者、生活支援員等	81人	【テーマ】 認知症の人と家族が必要としている支援について 【目的】 地域の多職種の関係者(医療、介護等)の交流のきっかけづくりおよび潜在的なニーズ発掘、地域ネットワークづくりにつながることを目標とする。	・グループワークを実施し、医師・薬剤師から認知症に関する基礎的な知識を紹介してもらい、参加者が持っている認知症に対するイメージや、日常で感じている困りごと等を検討した。 ・初参加の方も多く、新たな地域連携、情報交換のきっかけとなった。
高野台	H30.7.9	民生委員、町会・自治会、地域ボランティア、介護サービス事業者等	43人	【テーマ】 災害時(地震)自助・共助・公助の取り組み 【目的】 災害時における自助共助の重要性について理解を深めるとともに、それぞれの拠点や地域で自助共助の取組のきっかけづくりをする。あわせて、災害への取組を通じて、交流を深めたり、地域づくりを行う機会を作る。	・高齢者の防災意識の低さや近所付き合いなど地域の関わりの希薄さが課題であるとの意見があった。 ・災害時に自助が重要であることが認識できたという意見が多数あった。また、自助により自分が助かることで、人を助ける側に回れることが確認できた。 ・共助の必要性も理解が進んだが、参加者がそれぞれの拠点や地域で共助をどのように展開するかが課題である。
石神井	H30.9.21	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、訪問支援協力員、コンビニエンスストア、介護サービス事業者等	44人	【テーマ】 認知症になっても安心して暮らせる地域づくり 【目的】 認知症の方が安心して暮らせる地域を作るために、関係者と情報共有を行い、地域でどのような資源があるかを確認・共有・発信していくことを目的とする。	・警察署や家族会から、認知症高齢者の保護の実態や介護する家族のお話などについて情報提供があった。 ・町会・自治会の方からの相談について後日対応することになり、顔の見える関係づくりが進んだ。
フローラ石神井公園	H30.9.13	民生委員、町会・自治会、訪問支援協力員、介護サービス事業者、配食サービス事業者等	33人	【テーマ】 薬局が行う在宅支援、かかりつけ薬剤師について 【目的】 地域資源である薬局のサービスを知り、住民が活用できるようにするとともに、薬局と各事業所や地域住民をつなげ、顔の見える関係をつくる。	・グループワークを実施し、薬局のサービスや薬の管理、お薬手帳の大切さを学んだ。今後活用したい、相談したいとの意見もあった。 ・地域の薬局と民生委員、介護サービス事業者、地域包括支援センターの顔の見える関係が構築できた。
第二光陽苑	H30.9.13	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、訪問支援協力員、介護サービス事業者等	44人	【テーマ】 65歳以上の高齢者における防災を通じたネットワークづくり 【目的】 災害発生を想定した演習やグループワークを通じて、援護者と要援護者それぞれの立場で課題を把握、共有し、災害時の活動や日頃の備えについて検討する。	・従来の会議では行えなかった体験や演習を通じて、災害時における自助や共助の重要性を学べた。 ・今回は、災害発生時に避難拠点や介護サービス事業者、地域包括支援センターがどのような役割を果たすかについて検討する。
関町	H30.5.30	民生委員、町会・自治会、老人クラブ、医療機関、薬局、ボランティア団体、介護サービス事業者等	50人	【テーマ】 「高齢者における虐待とは」～高齢者虐待の定義と石神井圏域の現状～ 【目的】 高齢者虐待防止法を正しく理解し、早期発見・早期通報・早期支援につなげる大切さや地域でそれぞれの立場で取り組めることを考え、共有する。	・高齢者虐待について、地域で学ぶ機会が少なかった経緯もあり、高齢者虐待の定義と養護者の支援方法について学び、早期発見等に結び付ける機会となった。 ・地域の高齢者虐待の現状と特徴を把握することで、それぞれの立場で担える役割について考える機会となった。
上石神井	H30.6.26	民生委員、町会・自治会、訪問支援協力員、介護サービス事業者、消費生活センター等	51人	【テーマ】 高齢者にまつわる悪質商法・消費者被害・契約トラブルの実態と防止策 【目的】 消費生活センター相談員の講義およびグループワークを通じて、最近の被害の特徴や傾向について把握する。	・架空請求や起訴の案内通知等の事例を知ることができ、高齢者に限らず若い方でも騙されてしまうのではとの意見があった。 ・高齢者を支援する側として、地域包括支援センターの職員も含め参加者全員が最近の被害状況や傾向を把握することができた。